

## 来月の消費予報

# コロナ禍の長期化と感染者増が影響し、消費意欲指数は6月として過去10年の最低値に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※5月6～10日に調査(詳細はP5)  
2021年6月の消費意欲指数は45.2点。前月比-2.4pt、前年比-2.6ptと、ともに低下しました。

### 6月の消費意欲指数



【前月比】

-2.4 ポイント

【前年比】

-2.6 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

### カテゴリ別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(6月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

### 6月のポイント

#### Point1：コロナ禍の長期化と感染者増も重なり、消費意欲指数は前月から低下

例年6月は、大型連休と夏休みの狭間で消費意欲指数が低下する月ですが、今年は前月比・前年比ともに低下し、6月として過去10年の最低値となりました。

消費意欲指数の理由(OA)を前月と比べると、連休や季節催事が少ない6月らしく「季節柄の出費や意欲向上(21年5月129件→21年6月59件)」が大きく減っているのに加え、「自粛要請/緊急事態宣言のため(5月91件→6月123件)」など、コロナ禍に関する消費にネガティブな回答が増加しています。

感染者数増加に伴う緊急事態宣言の延長や地域拡大などが、前月からの消費意欲の低下を大きくしているようです。

#### Point2：自粛の反動による消費が一巡し、前年比でも消費意欲減退

前年6月は自粛の反動による消費意欲の高まりで、指数は過去5年の最高値でしたが、今年はその反動も落ち着いたようです。消費意欲指数の理由を前年と比較すると、「反動で買い物や外出したい(20年6月80件→21年6月21件)」や「(コロナで)我慢しているので消費したい(20年6月51件→21年6月5件)」は前年から大きく減少しています。さらに、「コロナの状況が緩和・収束しそう(20年6月40件→21年6月8件)」といった、コロナ収束に期待する回答も減っています。

コロナ禍が1年以上に長期化し、自粛の反動による消費が一巡したうえに、コロナ収束への期待も持てず、例年以上に消費意欲が落ち込んでいることがうかがえます。

#### Point3：消費意向は外出関連カテゴリで前年比減も、必要度の高いものは健在

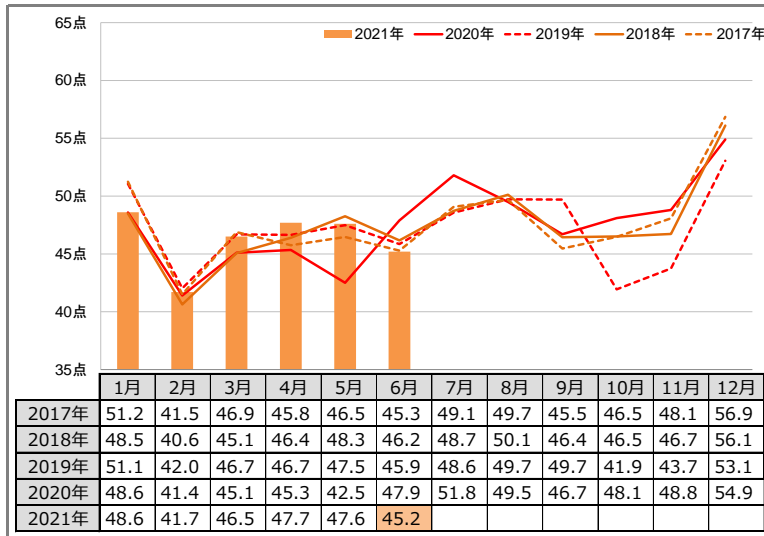
「特に買いたいモノ/利用したいカテゴリがある」人は27.7%で、前月比+0.6ptと横ばい、前年比は-3.5ptと低下しましたが、6月としては過去5年で前年に次ぐ高さです。カテゴリ別の消費意向では、前年と比べて「外食」「理美容」「旅行」「レジャー」など外出関連のカテゴリが20件以上減少していますが、前月と比べると「日用品」「理美容」は20件以上増えています。続く自粛生活で外向きの消費は減っていますが、日常生活で必要度の高いカテゴリへの消費意向は健在のようです。

消費意欲指数

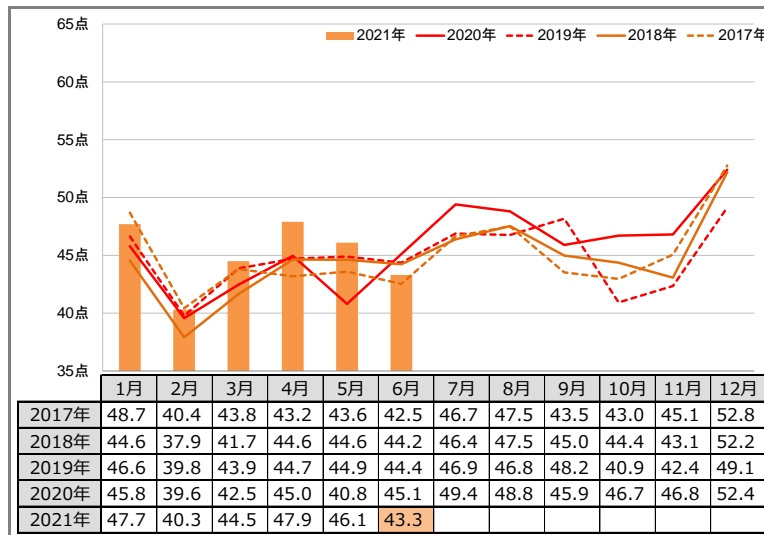
■ 時系列グラフ

Q.消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

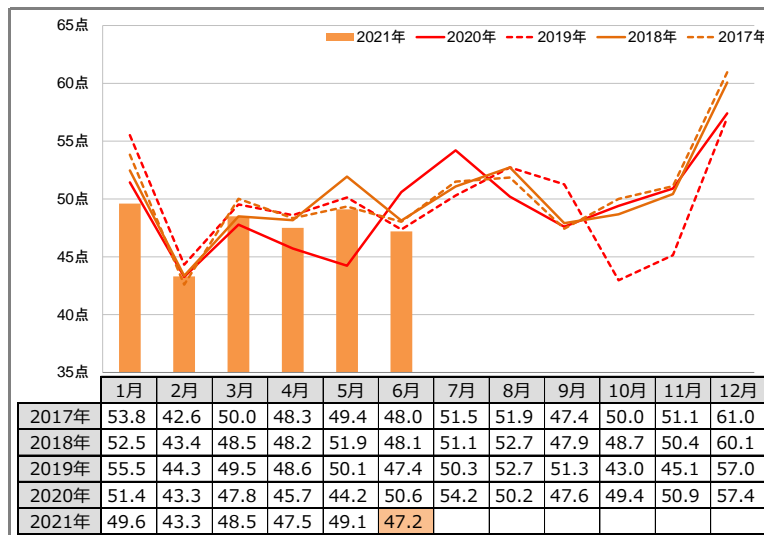
【全体】



【男性】



【女性】



## 補足資料②

### 消費意欲指数

#### ■ 性別/年代別比較

	(点)						21年5月比較	
	21年1月	21年2月	21年3月	21年4月	21年5月	21年6月	前月比	前年比
全体	48.6	41.7	46.5	47.7	47.6	<b>45.2</b>	-2.4	-2.6
男性	47.7	40.3	44.5	47.9	46.1	<b>43.3</b>	-2.8	-1.8
女性	49.6	43.3	48.5	47.5	49.1	<b>47.2</b>	-2.0	-3.5
20代	48.9	41.1	48.0	50.3	49.7	<b>46.9</b>	-2.8	-3.8
30代	50.6	42.6	47.6	48.2	49.9	<b>46.5</b>	-3.4	-5.0
40代	50.1	41.1	47.2	49.1	47.0	<b>47.2</b>	0.2	-0.3
50代	45.0	41.4	42.6	44.6	45.1	<b>41.1</b>	-4.0	-3.4
60代	48.7	42.7	47.8	46.6	47.2	<b>44.7</b>	-2.5	-1.3

+3pt以上の増加

-3pt以上の減少

#### ■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

##### <生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【自粛/緊急事態宣言のため】>

- ・特に出かける用事はないから。コロナが流行しているので出かけることがない(30点・男性20歳・岐阜県)
- ・コロナで出かけられないし、そこまで急いで欲しいものもないから(30点・男性31歳・埼玉県)
- ・コロナの影響による緊急事態宣言中のため(30点・男性45歳・兵庫県)
- ・コロナで出歩くことが減っているが、6月になっても状況は変わっていないと思うので(20点・男性56歳・神奈川県)
- ・不要不急の外出は控える。他にも給与減もある(40点・男性61歳・愛知県)
- ・自粛期間が続きそうだから(40点・女性21歳・兵庫県)
- ・これから緊急事態宣言が出されそうで買い物をする気分ではないから(20点・女性32歳・愛知県)
- ・特にイベントもないし、コロナ禍で自粛生活だからできる限り静かに過ごしたい(10点・女性40歳・愛知県)
- ・コロナの影響で節約をしないとイケない。緊急事態宣言で、外に出にくいので、買物を楽しめない(10点・女性55歳・東京都)
- ・医療逼迫している大阪では、自家用車以外でのショッピングに出られず、ネットショッピングも飽きてきたから(40点・女性61歳・大阪府)

( )内点数:消費意欲指数

#### (参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(4月1日~6日)後より今回調査(5月6日~10日)まで

- 4月12日 まん延防止等重点措置 東京、京都、沖縄に適用拡大(~5月11日予定)
- 4月20日 同措置 埼玉、千葉、神奈川、愛知に拡大(~5月11日予定)
- 4月25日 東京、大阪、兵庫、京都に、3度目の緊急事態宣言が発令(~5月11日予定)
- 4月29日 東京都、新規感染者900人台 3か月ぶり
- 4月30日 全国の重症者1,020 人に 以降連日1,000人を超える
- 5月7日 東京、大阪など4都府県の緊急事態宣言 5月末まで延長決定 愛知、福岡も追加し6都府県に拡大
- 5月8日 変異株、若い世代に猛威 20-30代で入院3倍に
- 5月9日 全国の新規感染者数7,200人 14道県で最多

## 補足資料③

### 特に買いたいモノ・サービス

#### ■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q.あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2021年6月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.7	0.6	-3.6
男性	25.8	0.3	-3.6
女性	29.7	1.0	-3.5

#### ■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q.特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

#### 【全体】(416人)

#### 参考:男性(195人)

#### 参考:女性(221人)

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	222	+12	-29
2	食品	206	+15	-1
3	外食	170	±0	-69
4	飲料	151	+19	+5
5	理美容	126	+29	-52
5	旅行	126	-19	-37
7	日用品	118	+22	+24
7	書籍・エンタメ	118	+7	-4
9	化粧品	117	+12	+7
10	家電・AV	112	+12	+3
10	レジャー	112	+3	-33
12	インテリア用品	75	+9	+4
13	装飾品	68	+8	+5
14	パソコン・タブレット・周辺機器	53	-18	-8
15	スマートフォン・携帯電話	48	-15	+9
16	車・バイク	37	-4	+15

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	90	+14	+11
2	ファッション	85	+3	+2
3	飲料	75	+14	+12
4	外食	73	+3	-19
5	旅行	66	-10	-10
6	書籍・エンタメ	63	+8	-4
7	家電・AV	61	+11	-3
8	レジャー	56	-2	-9
9	パソコン・タブレット・周辺機器	44	-3	+1
10	日用品	42	+13	+15
11	インテリア用品	31	+8	+4
12	スマートフォン・携帯電話	30	-6	+6
13	車・バイク	29	-4	+12
14	装飾品	28	+1	+4
15	理美容	25	+3	-13
16	化粧品	17	+5	+9

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	137	+9	-31
2	食品	116	+1	-12
3	理美容	101	+26	-39
4	化粧品	100	+7	-2
5	外食	97	-3	-50
6	飲料	76	+5	-7
6	日用品	76	+9	+9
8	旅行	60	-9	-27
9	レジャー	56	+5	-24
10	書籍・エンタメ	55	-1	±0
11	家電・AV	51	+1	+6
12	インテリア用品	44	+1	±0
13	装飾品	40	+7	+1
14	スマートフォン・携帯電話	18	-9	+3
15	パソコン・タブレット・周辺機器	9	-15	-9
16	車・バイク	8	±0	+3

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

## 調査概要

### ■ 質問項目(質問文)

#### [消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)  
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### [特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)  
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

<b>調査概要</b>	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
<b>調査地域</b>	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
<b>調査対象者</b>	20～69歳の男女					
<b>対象者割付</b>	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
<b>サンプル数</b>	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500
<b>調査方法</b>	インターネット調査					
<b>調査時期</b>	2021年5月6日(木)～10日(月)(2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)					
<b>調査機関</b>	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、5/21付で「2021年5月 新型コロナウイルスに関する生活者調査」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2021/05/20210521.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

**問い合わせ先** 博報堂生活総合研究所(近藤・内濱) 03-6441-6450 seikatsusoken.info@hakuhodo.co.jp  
株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

**データ公開** 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2021-06/>)からダウンロードしていただけます。